

平成17年度 事業報告書
(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構

[基本方針]

社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構の役割と使命は、医学・歯学等の医療系大学において、態度・技能・知識についての評価試験を実施し、学生の段階から医療人としての適性と能力を全国的に一定水準に確保することにある。このために、医学・歯学等の専門領域ごとに大学・学部等間で共通の評価試験を実施するとともに、評価基準と成績の向上を目指すことにより、広く一般社会の理解と協力を得ながら、国際的にも遜色のない優れた医療人の育成に貢献しようとするものである。

この基本方針を達成するため、下記事業を実施した。

[主な事業]

1. 共用試験CBT関連事業

- (1) 平成14年から共用試験の試行により蓄積されたプール問題を用いて、2006年度前期共用試験CBT（平成17年12月～平成18年3月）を実施（医学系75大学等、歯学系9大学等）した。
- (2) 試験問題と試験成績は機構において厳重に管理し、詳細な統計分析を行うための組織体制とシステムを整備し、学生のCBT成績を各大学ごとに返却するとともに全体成績及び分析結果を公表した。
- (3) CBT用プール問題の蓄積と入れ替えのために各大学に新規問題作成を依頼し、大学作成新規問題及び機構作成新規問題のブラッシュアップ作業を行った。

また、試験実施後に試験問題の評価を行い、優れたCBT問題の継続的な蓄積を行うためのシステムを整備した。

2. 共用試験OSCE関連事業

- (1) OSCEの試行結果を参考にしてOSCE学習評価項目・評価表・評価基準等の標準化を進め、OSCE実施のための組織体制及びシステムを構築した。

また、各大学の実施体制の改善を支援するとともに、OSCE実施日程を調整し、OSCE実施に関する大学間の協力を支援した。

- (2) 各大学から提出されたOSCE最終トライアル成績をもとに全体成績及び統計処理結果を公表した。

3. 調査研究・開発事業

1) 調査研究事業

- (1) 臨床実習開始前の共用試験は、既に公開されている医学・歯学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠しており、CBT問題作成及びOSCE評価基準作成にあたって、

モデル・コア・カリキュラムの導入状況，特に臨床実習の診療参加型への転換状況を把握するための調査方法を検討した。

- (2) CBT問題の形式と内容及びOSCE課題と評価方法の改善のための調査・研究を前年度から継続して行った。
- (3) CBTプール問題の管理方法を検討するため，法制度などの変更に対応するため方法論について調査・研究を行った。
- (4) OSCEの各課題に対する受験生の評点解析から全国規模での教育実施状況を推定する方法についての調査・研究を行った。
- (5) 共用試験の実施が予想されている薬学系等他の医療関係領域や，学習の種々の段階及び卒業時の共用試験による評価の在り方等についての調査・研究を開始した。

2) 開発事業

- (1) CBT問題作成及び問題修正ソフト，プール問題管理システムソフト，試験実施環境事前チェックのためのシステムソフト，試験実施ソフト，成績管理ソフト等についての継続的な改善を行い，CBTについてはランダム出題による不公平を解消するためにプール問題セットの段階での出題難易度自動調整システムの研究開発を行った。
- (2) 各大学におけるCBT実施用サーバー及び端末等の状況を調査し，全大学で円滑にCBTを実施するために必要なCBT実施システムの改修を行った。
- (3) CBT及びOSCEの試験成績を統合して一括管理するシステムの要件定義の一部を行った。
- (4) 平成17年度CBT実施システム検証のため，ディスクレスパソコン等の特殊受験環境での大規模プレテストを実施した。
- (5) 将来にわたって共用試験を安全かつ簡便に実施し，成績の管理・返却を迅速に行うための電子化システム開発の調査・研究を開始した。

4. 研修・出版・広報活動事業

1) 研修事業

- (1) 安定的に共用試験CBTを実施するため，良質な試験問題のプールとその継続的な入れ替えが必要なことから大学教員の問題作成能力の向上を目指して問題作成ワークショップ（歯学系1回）を開催した。
また，各大学等で開催している問題作成講習会等（医学系16大学等，歯学系9大学等）に講師として機構から委員を派遣した。
- (2) 共用試験OSCEの標準的な評価を行うためには，一定水準のOSCE評価者の育成が不可欠であることからOSCE評価者育成ワークショップ（医学系2回，歯学系3回）を開催した。
- (3) 共用試験OSCEを円滑に実施するために必要な情報を共有し，現状の問題点を明確にしてその解決を図るための全国説明会（医学系2回，歯学系1回）を開催した。

2) 出版・広報活動事業

- (1) 学生・教員がCBTの内容を理解するために例題集を発行しているが、さらに学生の学習の参考とするためにCBT例題集の内容を充実させた改訂版として体験ソフト及び公開問題を発行した。
- (2) OSCEへの理解を深めるための標準課題・評価法を解説する臨床実習開始前の「共用試験」第3版（平成17年）版冊子にOSCE学習・評価項目を掲載した。
- (3) 共用試験の導入に至った経緯、意義、経過を含めた「共用試験」案内冊子を既に発行しているが、正式実施に向けて改訂版（平成17年版）を発行し、学生、医療系大学の学部・専攻科等の教職員、医療関連機関及び一般社会等へ配布した。
- (4) インターネット・ホームページURL <http://www.cato.umin.jp>を開設し、社団法人としての研究資料収集や事業活動の情報公開・提供の促進を行うための組織体制を整備した。

5. 国際協力事業

- (1) 平成17年10月15日（土）～16日（日）開催の財団法人医学教育振興財団主催の日英医学教育会議2005において共用試験CBTについての情報交換等を行った。
- (2) 上記の日英情報交換および、国際的な情報発信のために、CBT例題集の英文化作業を行い、会議参加の英国メンバーにCBTを視察させた。

6. 社団法人組織・活動の基盤強化をはかる事業展開

社団法人としての組織・活動の基盤強化を図るために、理事会を核とした活動を推進する。そのために理事会の下部機関として次の委員会を設け、課題及び問題点等を検討し、基盤強化を図った。

- (1) 共用試験実施委員会、(2) 共用試験事後評価解析委員会、(3) 共用試験制度・システム開発委員会、(4) 共用試験広報・推進委員会

平成17年度 社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構会議録

月 日	会 議 等	議 事
17. 4. 22 (金)	理事会 (機構会議室)	議題 ① 事務局長の交替について ② 平成17年度事業計画(案)について ③ 平成17年度収支予算(案)について ④ 組織構成委員会等(案)について ⑤ 基本財産の定期預金について ⑥ 共用試験正式実施の呼称について ⑦ 機構主催のCBT及びOSCEワークショップ参加者の参加費について ⑧ 旅費支給基準(案)の制定について ⑨ 参加大学の遵守事項の一部改正(案)について
17. 6. 14 (火)	理事会 (機構会議室)	議題 ① 総会について ・平成16年度共用試験実施機構収支決算(案)について ・平成16年度収支決算(案)について ② CBT及びOSCEの遵守事項(案)について
17. 6. 21 (火)	総会 (東京医科歯科大学)	議題 ① 平成16年度共用試験実施機構収支決算(案)について ② 平成16年度収支決算(案)について
17. 8. 15 (月)	理事会 (電子メールによる 持ち回り審議)	議題 ① 平成18年度歯科医師臨床研修必修化のマッチング順位選考におけるCBTトライアル成績の活用について
17. 11. 28 (月)	理事会 (機構会議室)	議題 ① 規程等の制定について ・職員給与規程の一部改正(案)について ・謝金支出基準(案)の制定について ② 共用試験に関する遵守事項について

		<ul style="list-style-type: none"> ③ ロゴマークの制定について ④ 正式実施の広報体制について ⑤ 奥羽大学歯学部の入会について ⑥ 教育用DVDの作成について
18. 3. 3 (金)	理事会 (機構会議室)	<p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 規程等の制定について <ul style="list-style-type: none"> ・委員会規程（案）の制定について ・情報公開規程（案）の制定について ・ホームページ運用規程（案）の制定について ② 総会について <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度事業計画（案）について ・平成18年度収支予算（案）について ・奥羽大学歯学部の入会審査について
18. 3. 9 (木)	総会 (東京医科歯科大学)	<p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 平成18年度事業計画（案）について ② 平成18年度収支予算（案）について ③ 入会審査について